

1. 体制

居宅介護支援センターみすみは、スタッフは常勤の介護支援専門員1名（管理者兼務）の体制で、介護保険での居宅サービス計画（ケアプラン）の作成、又、適切なサービス利用ができるよう市町村やサービス事業者、介護保険施設等と連絡調整を行い、在宅生活の支援を行った。

2. 実績

（表-1）実績

大期	小項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実績	契約者数	35	35	36	34	34	34	36	37	37	36	36	36	426
	新規契約者数	2	0	2	0	0	2	3	1	1	0	1	0	12
	契約解除(死亡、入所など)	0	0	1	2	0	2	1	0	1	1	1	0	9
	実績者数	33	32	32	31	30	31	31	34	32	33	32	33	384
	未実績者数(入院等)	2	3	4	3	4	3	5	3	5	3	4	3	42
	相談件数	16	7	9	7	9	9	9	10	4	5	10	5	100
	介護保険申請代行	3	1	3	2	2	2	3	1	2	1	6	2	28
	カンファレンス担当者会議	10	10	8	9	8	4	12	14	6	7	3	13	104
	居宅訪問回数	31	33	38	33	37	30	27	36	26	28	25	32	376
	当院訪問リハ紹介数	7	7	7	6	6	6	6	8	7	7	6	6	79
当院通所リハ紹介数	12	10	10	9	9	9	9	11	10	11	10	11	121	
契約者(市町村)	宇城市	13	13	14	13	13	13	12	13	13	12	11	11	151
	上天草市	21	21	20	19	19	19	22	22	22	22	23	23	253
	天草・熊本市	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

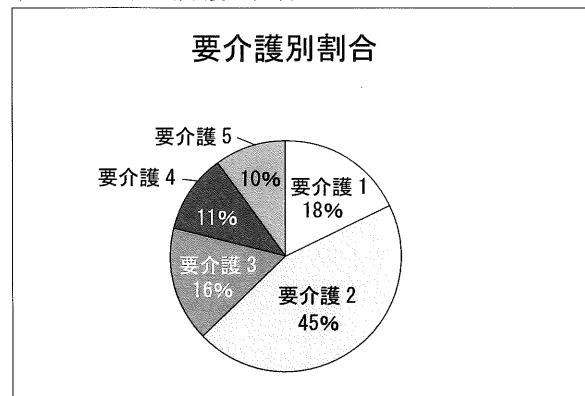
2018年度の延べプラン作成件数は384件で、入院者等の未実績者が42名と増えたため、前年度より5件減少した。また、早期介入事案が1件で、暫定プラン作成は1件であった。実績者数は月30名以上を維持することができたが、月平均は32名で目標の33名にはとどかなかった。

相談・介入依頼は100件で、家族、関係機関からの相談・依頼が多かった。内容としては、介護保険の申請・更新手続き、サービス調整などが主で、介護保険代行申請数は28件（新規・更新）であった。

契約者の地域別の割合としては、半数以上が上天草市大矢野町で（宇城市36%、上天草市・天草市62%、熊本市2%）、男女比でみると女性が8%高かった（男性46%、女性54%）。

要介護度別に見ていくと、要介護度1・2が全体の6割以上（63%）を占めており、また、介護度が重くなるにつれ在宅生活は厳しくなっていくが、要介護度4・5も21%を占めた。（グラフ-1）要介護別割合

（グラフ-1）要介護別割合



契約解除者は9名で、理由としては介護保険更新を希望されなかった方が1名（長期の入院が必要だったため）、死亡が3名、要介護から要支援になられた方が2名、在宅生活が困難になり病院、施設（有料老人ホーム）に入院・入居した方が3名であった。

世帯別（延べ）で見えていくと夫婦二人暮らしの世帯が119件、家族同居世帯が225件、有料老人ホーム入所者が82件であった。単身世帯はいなかったが、日中家族が不在となり一人で過ごされる世帯や介護者が必要となり、仕事を調整し以前のように働くことができなくなった方もいた。また、老老介護で体力・精神的な負担がとても大きく、実際に介護者が骨折で手術・入院となり自宅での生活ができなくなった事例があった。介護者が倒れてしまうと在宅生活が困難になってしまうというリスクを抱えながら、毎日必死に生活されている姿が印象的だった。

3. 次年度の計画

当院周辺地域は老老介護世帯の増加、高齢化率の上昇が著しい地域であり、社会資源も少ないため、院内居宅としての強みを活かし医療との連携、訪問リハ・通所リハと協働していく。また、介護が必要な状態になっても安心して住み慣れた地域で生活できるよう、医療・介護の関係機関と連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供が円滑に行えるようサポートしていきたい。